

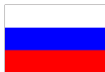
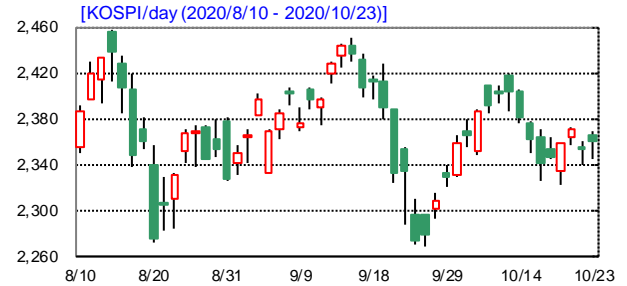


## 【韓国】 総合指数は週間で0.8%高と反発、今週は米大統領選前に神経質か

### 先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で0.8%高と反発。米国の追加景気対策を巡る協議進展への期待を背景に週初から堅調な値動きで、21日まで3日続伸。中国の7-9月期GDPは予想を下回り、韓国の10月前半の輸出統計もさえない内容となったが、さほど材料視されず、総じて堅調に推移した。韓国ウォンの上昇を見込んだ海外勢の買いも相場を押し上げた。新型コロナウイルスを巡っては、国内の1日当たり新規感染者数がいったん2桁台まで減少したが、再び3桁台に戻ったことが投資家心理を冷やし、相場の重しとなった。22日は反落したものの23日は米株高を好感して反発した。今週は国内の感染状況や米大統領選をにらみ神経質な展開が続くか。経済指標では、27日に7-9月期のGDP、30日に9月の鉱工業生産が発表される予定。

▼指数チャート

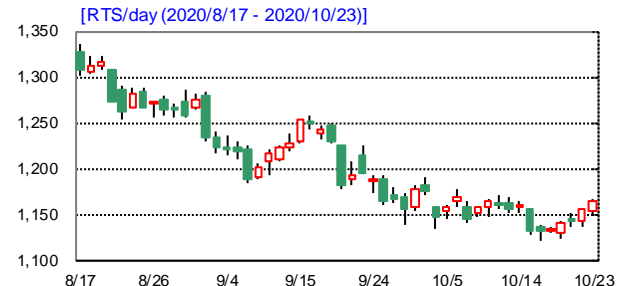


## 【ロシア】 RTS 指数は2.8%高と反発、今週はコロナ感染再拡大が相場に影響か

### 先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で2.8%高と反発。前週に5月半ば以来の安値まで下落したことで割安感が強まったほか、米ドル安も指数を押し上げた。原油相場の下落が重しとなったものの、前週にRTS指数が5カ月ぶりの安値まで下落し、押し目買いが入ったほか、ルーブルが対米ドルで2%超上昇したことも追い風となった。新型コロナウイルス感染再拡大で欧州株が軟調となるのを横目にロシア株は週後半も買い優勢の流れが続いた。個別では、時価総額最大のズベルバンク・オブ・ロシアが週間で6.6%高と相場をけん引。配当支払いの発表が好感された。原油相場が下落する中、タトネフチが2.2%高、ルクオイルが1.7%高。一方、産金のポリュスが5.0%安と4週ぶりに大幅反落した。今週はコロナ感染再拡大や原油相場をにらんだ展開か。

▼指数チャート



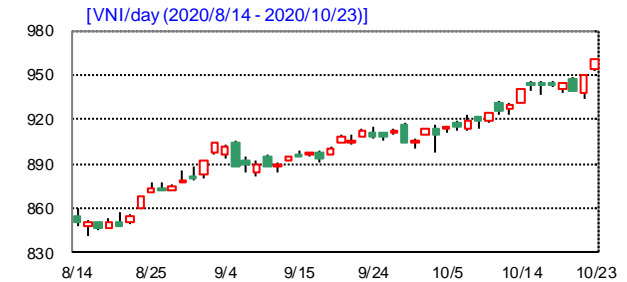
## 【ベトナム】 ベトナム指数は1.9%高と6週続伸、今週も海外資金流入を背景に堅

### 調か

### 先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で1.9%高と6週続伸。ドル安の流れを背景に買いの勢いが続き、VN 指数は約9カ月ぶりの戻り高値を付けた。前週にVN 指数が1月31日以来の高値を更新したことで高値警戒感を背景に週明け19日から21日まではもみ合う展開。ただ、その後は、米ドルが主要通貨に対して弱含んだことで週後半は新興国市場への資金流入の勢いが強まり、ベトナム株も買い優勢となった。指数は週末23日に961.26ポイントと週間の高値で取引を終え、1月22日以来、約9カ月ぶりの高値を更新している。個別では、食品加工のマサン・グループが7.5%高、不動産のビンググループが6.6%高、金融の軍隊商業銀行が5.6%高と大幅に上昇し、指数を押し上げた。今週は海外からの資金流入を背景に引き続き堅調な値動きか。

▼指数チャート

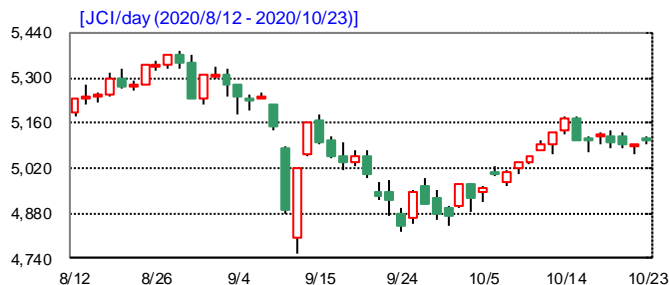


## 【インドネシア】

**【先週の動き／今週の展望】**ジャカルタ総合指数は 0.2%高、今週はムハンマド生誕記念日で 28-30 日が休場

ジャカルタ総合指数は週間で 0.2%高と 3 週続伸。国内の重要イベントが少ない中、米国の動向が指数を左右した。週初の 19 日は、前週末の NY ダウが上昇した流れで金融株を中心に買い優勢となり、3 営業日ぶりに反発。ただ、20 日に反落して終値で 5100 ポイントを割り込むと、22 日まで小幅ながら 3 日続落した。23 日は米与野党の協議が続く追加経済対策の合意に対する期待が高まった効果で買い戻されて取引を終えている。今週も国内の経済指標発表が少なく、新型コロナウイルスの感染状況や来月 3 日に大統領選を控えた米国の動きが意識されそうだ。28-30 日はムハンマド生誕記念日のため休場。

### ▼指数チャート

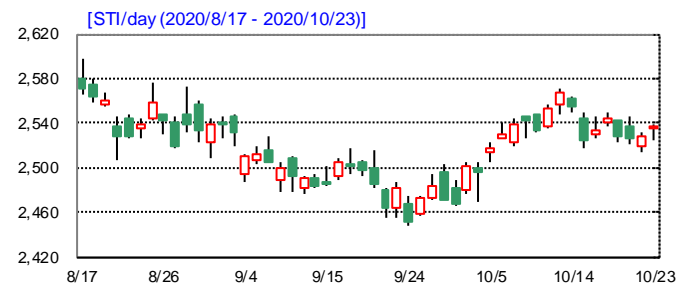


## 【シンガポール】

**【先週の動き／今週の展望】**スレーツタイムズ指数は 0.2%高、今週は 9 月の鉱工業生産が焦点

スレーツタイムズ指数は週間で 0.2%高と 4 週続伸。週後半の買い戻しが指数を支えた。週初の 19 日は中国の 7-9 月期の GDP が前年同期比 4.9%増と市場予想の 5.2%増から下振れしたものの影響は軽微で指数は続伸。一方、20 日は前日の NY ダウが追加経済対策の合意期待の後退を嫌気して反落した流れを引き継ぎ、売り優勢の展開となった。21 日も続落したが、22 日に反発すると、23 日は前日の NY ダウの反発に加え、4 月以来 5 カ月連続で前年同月の水準を下回っていた CPI が 9 月は同水準に回復した効果で続伸して取引を終えている。今週は 26 日発表の 9 月の鉱工業生産に対する市場の反応が焦点。

### ▼指数チャート

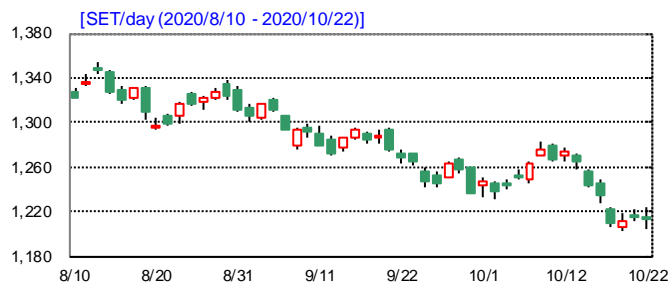


## 【タイ】

**【先週の動き／今週の展望】**SET 指数は 1.6%安、反政府運動の激化を嫌気

SET 指数は 4 日間の取引で 1.6%安と続落。週初の下落が響いた。19 日は反政府運動の激化が嫌気され、指数は前営業日比 2.0%安と終値で約 6 カ月ぶりの安値を更新。20 日は事態の鎮静化を図るため、政府が臨時国会を召集する方針を示したことが買い材料視され、5 営業日ぶりに反発した。21 日は前日の NY ダウが反発した流れで続伸。一方、22 日はデモの抑え込みを目的として前週に発令された非常事態宣言が当初の期限を前倒しして解除されたものの、9 月の貿易収支（通関ベース）が市場予想を下回った影響などで反落して連休前の取引を終えている。今週は 28 日に 9 月の鉱工業生産が発表される予定。

### ▼指数チャート

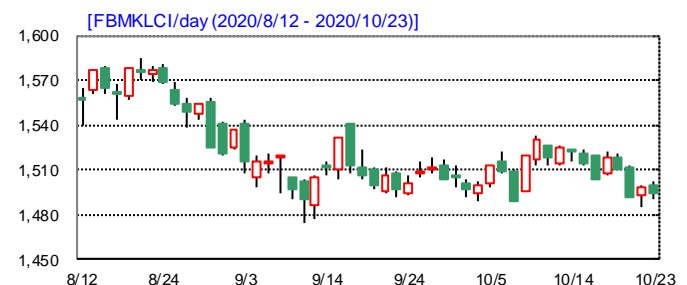


## 【マレーシア】

**【先週の動き／今週の展望】**クアラルンプール総合指数は 0.6%安、今週は 28 日に 9 月の貿易統計発表

クアラルンプール総合指数は週間で 0.6%安と続落。週半ば以降は 1500 ポイントを挟んでもみ合った。週初の 19 日は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて地域限定の都市封鎖が導入される中、ゴム手袋メーカーのハルタレガとトップ・グローブが指数上昇をけん引し、4 営業日ぶりに反発。ただ、20 日に利益確定売りで反落すると、21 日は 9 月の CPI が 7 カ月連続で前年の水準を下回った影響で前日比 1.2%安と続落した。22 日は政局の混迷に対する懸念が和らいだ効果で反発したが、23 日は再び反落している。今週は 28 日に 9 月の貿易統計が発表される予定。29 日はムハンマド生誕祭のため休場となる。

### ▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。